

Revolution

～革命を起こそう～

大阪府立千里青雲高等学校 9期生担任団
学年通信 No. 5
2015年9月1日

「海外遠征を経験して」

長いようで短い夏休みが終わりました。みんなはどんな夏休みを過ごしましたか？
私はこの夏休み、部活動はもちろんのこと、それ以外にサッカー関係の仕事もあり、1日の休みもなく大忙しでした。その中の1つ、海外遠征について紹介します。

7月21～30日の9泊10日(機内2泊)、大阪高体連サッカー部の選抜チームのスタッフとしてオランダに行ってきました。選手20人(私立10人、公立10人)・スタッフ9人の29人でオランダ南部のシッタードという田舎町に拠点を置き、ドイツやベルギーにもバスで移動し、親善試合を5試合してきました。オランダの夏は気温が20℃ぐらいと聞いて行きましたが、実際はもっと寒く、ほとんど長袖を着ていました(だから日焼けはしていません…。)日の入りも遅く、夜の9時でも明るく、10時でやっと暗くなる感じでした。だから、夕食後の試合が19:30キックオフでも、照明なしでやっていました。

サッカー的な話を少しすると、ボールを扱う技術は大阪の選手も負けてはいませんが、体格の差・パススピード・ボールやゴールへの執着心が全然違うと感じました。

サッカーだけでなく観光もしてきました。観光の中で一番良かったのが、ドイツのドルトムントのスタジアム見学でした。みんなもよく知っている香川真司選手が所属するチームのホームスタジアムです。そこは観客を8万人以上収容するだけでなく、地元の人でもチケットが取れないぐらい熱狂的なサポーターがいることでも有名です。スタンドやベンチ(写真右)、ロッカールームを見学しましたが、一番興奮したのが、実際の選手が入場するときの



人が集まり、ドリンク片手にサッカー観戦を楽しんでいる。こんな環境は日本では有り得ない。



BGMをかけてもらい、選手が入場する同じ通路を通してピッチに入場したときでした。(写真左)

今回の遠征で感じたことは、当たり前ですがやはり文化の違いは大きいということです。5試合全て違う場所で試合をしましたが、どこに行っても天然芝3面以上・人工芝1面、そしてBAR付のクラブハウスがある。そして、サッカーをしているとどこからともなく

海外がとても苦手で、正直言うと、出発直前までずっと行きたくないと思っていました。しかし現地で7泊しているうちに、オランダの町並み・人の雰囲気がとても好きになり、自分の中で「Revolution」が起こり、永住したいと思ったぐらいです(今は無理やろな…)。

最後になりますが、みんなはこれから自分の人生を決めていきます。今のみんなには「無限の可能性」があります。そんな可能性を高めるには、今みんながやっていること(勉強・学校行事・部活動など)に素直にチャレンジすることが重要です。それらに無駄なことは何一つありません。だから目の前のことを「きっと将来何か役に立つはず」と思い、全力で頑張りましょう。

まずは秋桜祭！クラスみんなで協力して、「Revolution」を起こしましょう。

9期生4組担任 下鶴 大悟



～9月の主な行事予定～

5日(土)：秋桜祭第1部 文化祭

7日(月)：大掃除

10日(木)：秋桜祭第2部 音楽祭

11日(金)：代休

19日(土)：シルバーウィーク(～23日、21日：敬老の日、23日：秋分の日)

26日(土)：ONE DAY TRIP

29日(火)：学力診断テスト

30日(水)：避難訓練、大掃除

特別企画：Revolution

くずかわちゃれんじ(仮)

この特別企画は、実は年度当初から担任団の一部で話にあがっていました。きっかけは学年通信のタイトルが決まったところで、「葛川先生がベンチプレス100kg上げられたら面白い」の一言。ベンチプレスはともかく、『Revolution』を掲げたのだから何かやってみよう！ということで、この企画「くずかわちゃれんじ(仮)」が始動します！

まずは「漢字検定」に取り組んでみようと考えています。目標は2級！期間は今年度中に！(あと何回機会があるのだろう…？)

今後、進捗状況などを学年通信『Revolution』で報告していきます。負担・企画倒れにならないくらいには頑張っていくので、ちょっとした楽しみにしてくれると嬉しいです。

(あと、「くずかわちゃれんじ(仮)」に変わるタイトルも募集します。)

